

司法試験・国家公務員採用総合職試験・公認会計士試験

合格者35人を祝福



合格者を代表して
嶋村さんが謝辞を述べた

2024年度の司法試験、国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験の合格祝賀式が12月9日、神田キャンパスで行われた。難関を突破した合格者を、佐々木重人学長、松木健一理事長、日高義博総長をはじめ、校友会や育友会、エクステンションセンターの講座講師らが祝福した。

今年度は、卒業生・修了生を含めて、司法試験合格者16人、国家公務員採用総合職試験16人、公認会計士試験10人の計35人が合格した(12月9日現在)。

国家公務員採用総合職試験に合格した嶋村昭矢さん(経済4)が合格者を代表してお礼の言葉を述べ、ともに合格を目指

合格者インタビュー

公認会計士試験
仲村 琉清さん
(商4)

社会保険労務士として働く父の姿を見て、高度な資格を持って活躍するエキスパートに憧れていました。企業経営に興味を持つようになったことで、社労士から税理士、公認会計士と目標が変わっていききました。

短答式は3回目、論文式は1回目です。合格者インタビュー

国家公務員採用総合職試験
鳥越 律樹さん
(文4)

コロナ禍での大学入學。何かしたいけれど制限がある、そんなときにたまたま受けたのがエクステンションセンター「公務員試験講座」の募集ガイダンスでした。講師の熱のこもった説明を聞き、入門講座の受講を決めました。そのときにはまだ、将来像は漠然としていた。講座では国家総合職の選抜コースでかなり難しい問題に挑戦する、と聞いています。

計修会祝賀会
計修会(専修大学公認会計士試験研究室)主催の公認会計士試験合格祝賀会が12月21日、神田キャンパスにて15人が参加して開かれた。写真は、本年度は計修会から、



平江大雅さん(商3)、安竹伸晃さん(商3)ら4人が合格した。

当日は、計修会前室長の佐々木重人学長やお世話になったエクステンションセンターの関係者が駆けつけ、合格までの健闘をたたえ、お祝いの言葉を贈った。

祝賀会の最後に合格者たちが「社会に出ると大変なこともある。その時は、計修会で支えあったことを思い出して進んでいこうと思う」と、決意と抱負を述べた。

(商学部准教授、計修会室長・松本徹)

国家公務員採用総合職試験 合格者

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 相川 旺翔さん
経済4
奴田原健悟ゼミ
神奈川県藤沢西高 | 渡辺 光哉さん
経済4
古賀麻衣子ゼミ
千葉県大多喜高 | 嶋村 昭矢さん
経済4
奴田原健悟ゼミ
千葉県東西武台千葉高 | 野口 愛翔さん
経済4
中野英夫ゼミ
東京都成瀬高 |
| 青地 拓馬さん
経済4
新田滋ゼミ
富山県桜井高 | 吉澤 栄奈さん
経済4
櫻井宏二郎ゼミ
栃木県宇都宮女子高 | 山田 亮翔さん
法4
榎透ゼミ
神奈川県海老名高 | 中川原 佑来さん
法4
鈴木潔ゼミ
神奈川県住吉高 |
| 安藤 洋介さん
経営4
神奈川県茅ヶ崎北陵高 | 加藤 拓実さん
文4
大浦誠士ゼミ
神奈川県麻生高 | 鳥越 律樹さん
文4
鈴木愛理ゼミ
神奈川県川和高 | 大村 大輔さん
文4
田中禎昭ゼミ
神奈川県金沢総合高 |
| 米倉 帆香さん
人間科学4
秋吉美都ゼミ
三重県四日市南高 | 池内 宏輝さん
法4
榎透ゼミ | 菅 智明さん
院法修2
指導教員:榎透 | |
- 【大卒程度試験】
- ※左記のほか1人が合格

公認会計士試験 合格者

- | | |
|---|---|
| 安竹 伸晃さん
商3
奥西康宏ゼミ
静岡県島田商業高 | 平江 大雅さん
商3
奥西康宏ゼミ
鹿児島県大島高 |
| 松田 和喜さん
商4
佐藤文雄ゼミ
埼玉県川越高(市立) | 仲村 琉清さん
商4
佐藤文雄ゼミ
山梨県駿台甲府高 |
| 金沢 侑芽さん
令6商
柳裕治ゼミ
千葉県流山高 | 相田 悠花さん
令6商
奥西康宏ゼミ
山形県山形市立商業高 |
| 塚本 侑矢さん
令6商
伊藤和憲ゼミ
東京都専修大学附属高 | 竹内 智彦さん
令5商
伊藤和憲ゼミ
静岡県袋井高 |
- ※上記のほか1人が合格

卒業生

足立 蒼史さん
令3商
谷守正行ゼミ
東京都足立学園高



誰もがができる快適な環境づくり

いまや、ハラスメントに関するニュースを見ない日はないのではないのでしょうか。

昨年の出来事を振り返ってみても、深刻な社会問題となったカスタマー・ハラスメント、県知事によるパワー・ハラスメント疑惑、教育機関におけるキャンパス・ハラスメントに関する報道などが数多く飛び交いました。

ハラスメントは、尊厳を傷つけるような言動によって、相手に不快感や不利益を与える嫌がらせです。人との接点がある以上、被害者にも加害者にもなる可能性があります。

ハラスメントをなくすために誰もがすることは、自分がされて嫌だと思ことは相手に対して行わないことです。自戒を込めて言えば、子供のころに親や先生から「人の嫌がることをしてはいけません」と諭されましたが、大人になった今も大切な心構えなのでしょう。

また、相手の言動に対して「嫌だ」と思ったときは、できるだけその場で相手に明確に意思を伝えることも必要だと思います。もし伝えられなければ、相談窓口へ駆け込む手段があります。専修大学にも「キャンパス・ハラスメント対策室」がありますので、ぜひ安心して相談してください。相談されたことなどの秘密は厳重に守られます。

専修大学に関わる全ての人たちみんながお互いに、快適に学修、教育、労働及び研究できる環境を作っていきましょう。

(キャンパス・ハラスメント対策室員 黒木義人)

キャンパス・ハラスメント対策室 TEL: 044-900-7858 E-mail: camhara@acc.senshu-u.ac.jp



ネット社会の問題考える

キャンパス・ハラスメント対策室と教職課程協議会の共同企画「ネットと開催。神田キャンパスで対面を実施したほか、開成中学・高校の国語教師で、ネットでの誹謗中傷に関する授業を続けていた神田邦彦さんが講師を務めた。写真。

「すべての表現は、君を表す名刺」であり、ネットでの誹謗中傷は、私は悪口を陰で言っている人とおとしめる人間です、という自己紹介になる。ネットの投稿は、永遠に消せない全世界への名刺配布と神田さん。さらに、ネットを人の感情を加速させる装置だと指摘し、「中毒性や特性を知って、言葉に対する直観力、直感的倫理観を育むことが大事だ」とまとめた。

計報

榮澤三二氏(えいざわ・こうじ)名誉教授・元法学部教授 11月29日、89歳で死去。1985年から2006年まで在職。専門は日本政治史。

最終講義のご案内

■ 松原 朗 国際コミュニケーション学部教授

日時: 2月6日(木) 4時限目(14:50~16:20)

場所: 神田キャンパス10号館 10031教室(黒門ホール)

*詳細は、in Campusでお知らせします